

第2回

「明日の学力」診断

問題例

小学3年～6年／中学1年～2年

★「明日の学力」診断では、「知識・思考力・判断力・表現力」を測ります。

「明日の学力」診断での「思考力・判断力・表現力」の定義

思考力とは

知識や与えられた情報をもとに、一般的な解釈や分析などにより、内容を理解する力

判断力とは

情報から自分の考えで仮説や推論を立て、解法などを選択・評価して問題を解決する力

表現力とは

思考力・判断力を踏まえ、相手にわかる形で構成し、伝える力

●資料から情報を読み取り、ほかに必要な資料を考えること！

ねらいは、『資料にある情報を分析し、情報を得るためにほかにどんな資料が必要かを考えること』。この問題では、「分析・理解する力」=思考力、「必要な資料を推測する力」=判断力、「自分の言葉で書く力」=表現力を診断します。

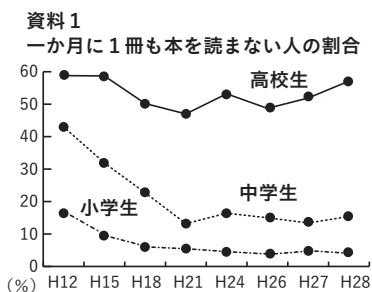
次のグラフを見て、後の問いに答えましょう。

まさるさん：資料1を見ると、高校生の、本を読まない人の割合が、小学生と中学生に比べて高いね。

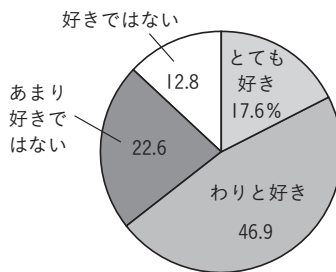
さなえさん：でも、資料2を見ると、_____がわかるわ。本を読まないのは、勉強や部活など、ほかのことでいそがしいせいじゃないかしら。

まさるさん：そうかもしれないね。ぼくは、高校生になるとインターネットを利用する時間が多くなって、そのかわりに本を読む時間が少なくなっているのかなと思うよ。

- (1) _____に当てはまる言葉を考えて書きましょう。
- (2) まさるさんの_____の発言を裏付けるためには、まさるさんはどのような資料を探せばよいでしょうか。考えて一つ書きましょう。



資料2 高校生の読書に対する意識



解答例

- (1) 読書が好きの人が6割以上いること
- (2) 小学生、中学生、高校生別のインターネットの1日の利用時間の平均がわかる資料。